

《特許出願中》

鳥獣害対策 AI解析+未来予測サービス

AnimalScopeTM + AnimalForecast AITM



鳥獣出没データ解析+未来予測サービス

撮って送るだけ 今の状況も、これからの予測も

標準プラン+未来予測（フルパッケージ）



定点ネットワークカメラ必須

こんなお悩みはありませんか？

被害が出てから気づく



カラスや獣が農地に来たと
気づいた時には、既に収穫物
が食べられた後
先手を打てる仕組みが必要！

対策効果が数字で出ない



感覚的な対策では、行政や農協
への説明が難しく、予算申請の
根拠を示せないことが課題です。

監視の人手が足りない



毎日の目視確認や記録作業に
多大な時間がかかり、人手不足
の現場では続けられません。

先手を打てない



「来週いつカラスや獣が来るか」
が事前に分かれば予防対策が可能

⇒ AnimalScope™ が、これらのすべての課題をデータの力で解決します！

2つの機能でワンパッケージ

AnimalScope™

▶ 現在の出没状況を見える化

- ✓ 日別・時間帯別の飛来数(出没数)グラフ
- ✓ 月別・季節別の長期トレンド
- ✓ 対策機器の設置前後の対策効果を数値で証明
- ✓ 毎週CSVレポートで納品



AnimalForecast AI™

▶ 未来の状況を先読み

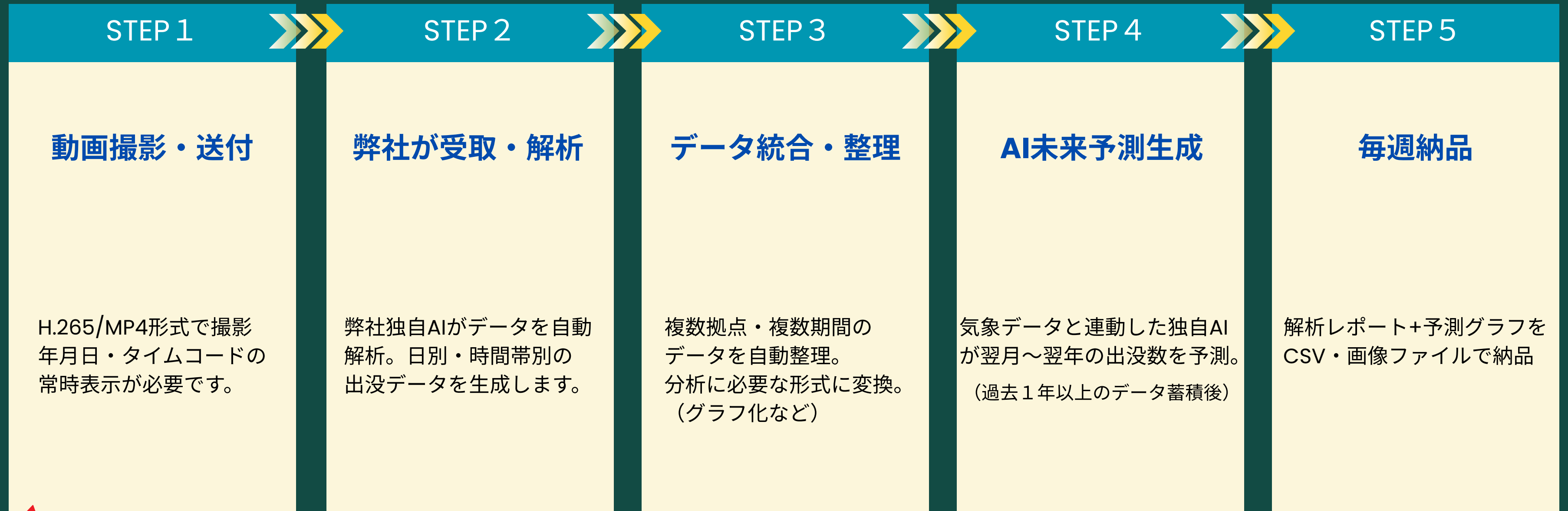
- ✓ 独自AI予測で翌月～翌年の飛来数(出没数)を予測
- ✓ 気象データや地形データと連動した高精度予測
データ蓄積期間が長いほど精度向上：導入時40%⇒1年後78%⇒3年後97%(目安)
- ✓ 年間・月別・季節別の予測グラフ出力
- ✓ 予防的対策のタイミングを事前に把握

ソフトウェアの販売・リースは一切行いません。完全な受取解析サービスです。

未来予測があると何が変わるのか

予測なし (Before)	予測あり (After)
 被害が出てから対応 (後手)	 被害の前に対策を打てる (先手)
 対策のタイミングが感触頼り	 「増加ピーク」が事前に分かる
 予算申請の根拠が薄い	 予測データで説得力のある予算申請可能
 シーズン通して警戒が必要	 重点期間に絞って効率的に対策できる

導入の流れ



STEP2以降は全て弊社が実施します。
お客様は動画を送るだけです。



※24時間連続録画のカメラが無い方⇒弊社のカメラ貸出し：オプション（有料）

まずはお気軽にご相談ください

サンプル資料やオンラインでの
ご説明もさせていただきます。

株式会社オート工芸社